

第15回富士山世界遺産セミナー

雲の上の診療所からのメッセージ

「安全な富士登山のために、今伝えたいこと」



撮影：速形 豪

日時 **11月30日(土)**
令和6年

13時30分～15時30分(受付開始:13時) **受講料:無料**

定員:120名(事前申込制・先着順)

会場

富士宮市役所 7階 特大会議室 (静岡県富士宮市弓沢町150番地)

アクセス JR富士宮駅(北口)より徒歩10分

※駐車スペースには限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用下さい。

申込期間・申込方法

令和6年10月16日(水)から令和6年11月21日(木)まで

静岡県富士山世界遺産センターホームページ
(<https://mtfuji-whc.jp/>) 内の「イベント」の
ページからお申込みください。

※電話(0544-21-3776)でのお問合せは9:00～17:00にお願い致します。
(11月19日は休館日のため電話対応ができません。)



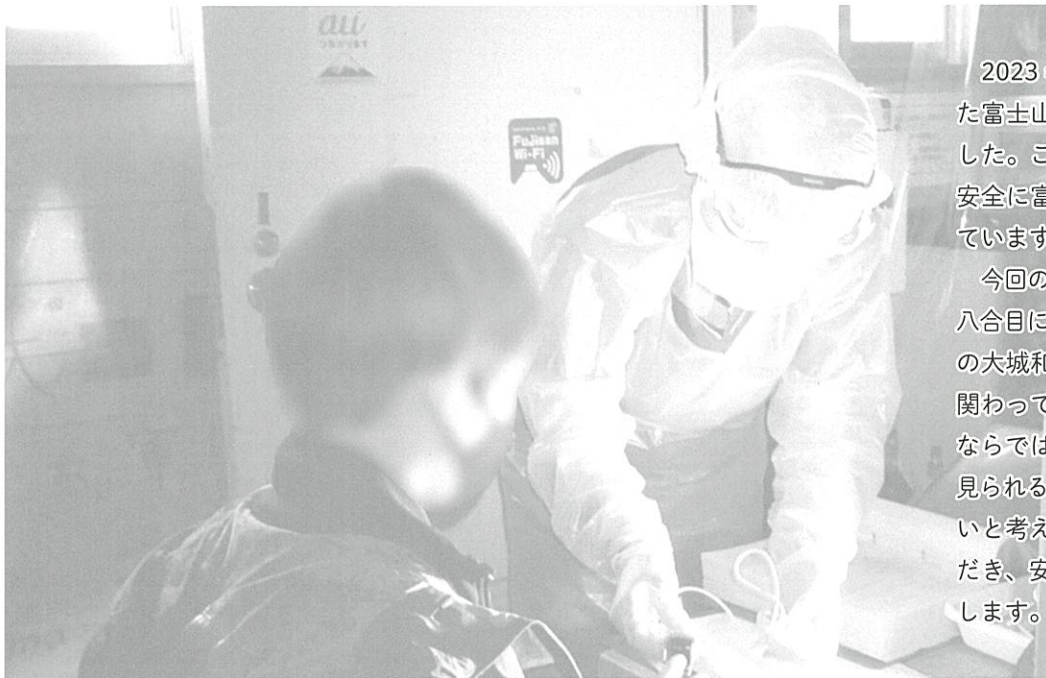
内容

講演「雲の上の診療所からのメッセージ

—安全な富士登山のために、今伝えたいこと—

大城和恵様 (国際山岳医・富士山衛生センター勤務)





2023年、世界文化遺産登録10周年を迎えた富士山は、多くの登山者で賑わいをみせました。このような登山者の増加にともない、安全に富士登山をすることの重要性が叫ばれています。

今回の富士山世界遺産セミナーでは、富士山八合目にある「富士山衛生センター」にお務めの大城和恵様をお招きします。長年登山者に関わってくださっている大城様から、富士山ならではの登山者への対応、富士山で頻繁に見られる症状やその対応、今後富士登山をしたと考えている方への助言などをお話しいただき、安全な富士登山について考える機会とします。

スケジュール

- 13:30～ 開会あいさつ
13:40～ 講演「雲の上の診療所からのメッセージー安全な富士登山のために、今伝えたいことー」
大城和恵様(国際山岳医・富士山衛生センター勤務)
15:20 閉会あいさつ

講師紹介

大城 和恵 (おおしろ・かずえ)



Degree

医学博士
Leicester (レスター) 大学山岳医療修士

Specialty

UIAA (国際山岳連盟) / ICAR (国際山岳救助協議会) / ISMM (国際登山医学会) approved Diploma in mountain medicine (英国国際山岳医) (日本人初)
Fellow of Academy of Wilderness Medicine (日本人唯一) など

役職

国際登山医学会 副会長
文部科学省南極地域観測統合推進本部委員
国立登山研修所専門調査委員
総務省消防庁消防大学救助科講師
北海道警察山岳遭難救助アドバイザー
富山県警察山岳遭難救助アドバイザー
長野県山岳遭難対策特別アドバイザー

経歴

2010年 英国にて日本人初「UIAA/ICAR/ISMM 認定 Diploma in Mountain Medicine 国際山岳医」取得。
Leicester 大学山岳医療修士。
「山岳医療情報」HP <http://www.sangakui.jp> を開設し国際基準を公開。
2011年 北海道警察山岳遭難救助アドバイザーに就任し国内初山岳救助への医療導入制度を実現。
札幌市の北海道大野病院(現札幌孝仁会記念病院)にて日本初の登山外来を新設。
2012年「山岳医療救助機構」代表として山岳での医療救助・応急処置プログラムを構築し普及を始める。
2015年 米国 Wilderness Medical Society の Fellow of Academy of Wilderness Medicine を日本人唯一取得。
総務省消防庁救助技術高度化検討会委員(医療)
2016年 全国高校体育連盟登山部「登山の医学」執筆
2018年「山岳医療救助機構」が ICAR (国際山岳救助協議会) に日本から唯一の医療関連団体として加盟
2021年「山岳医療救助機構」が北海道防災教育アドバイザーの指定を受ける
2022年 都内初の登山外来を日本大学病院に開設

山行歴 ※高所関連のみ記載

2010年 北米最高峰マッキンリー(6,194m) 山頂よりスキー滑降。
2013年 三浦雄一郎氏エベレスト世界最高齢登頂遠征チームドクター。
日本TV「イッテQ 登山部」チームドクターとしてマナスル(標高世界第8位:8,163m) 登頂。
2018年5月 日本人女性医師として初のエベレスト(8,848m) 登山に成功。

雲の上の診療所からのメッセージ

第15回富士山世界遺産セミナー

「安全な富士登山のために、今伝えたいことー」